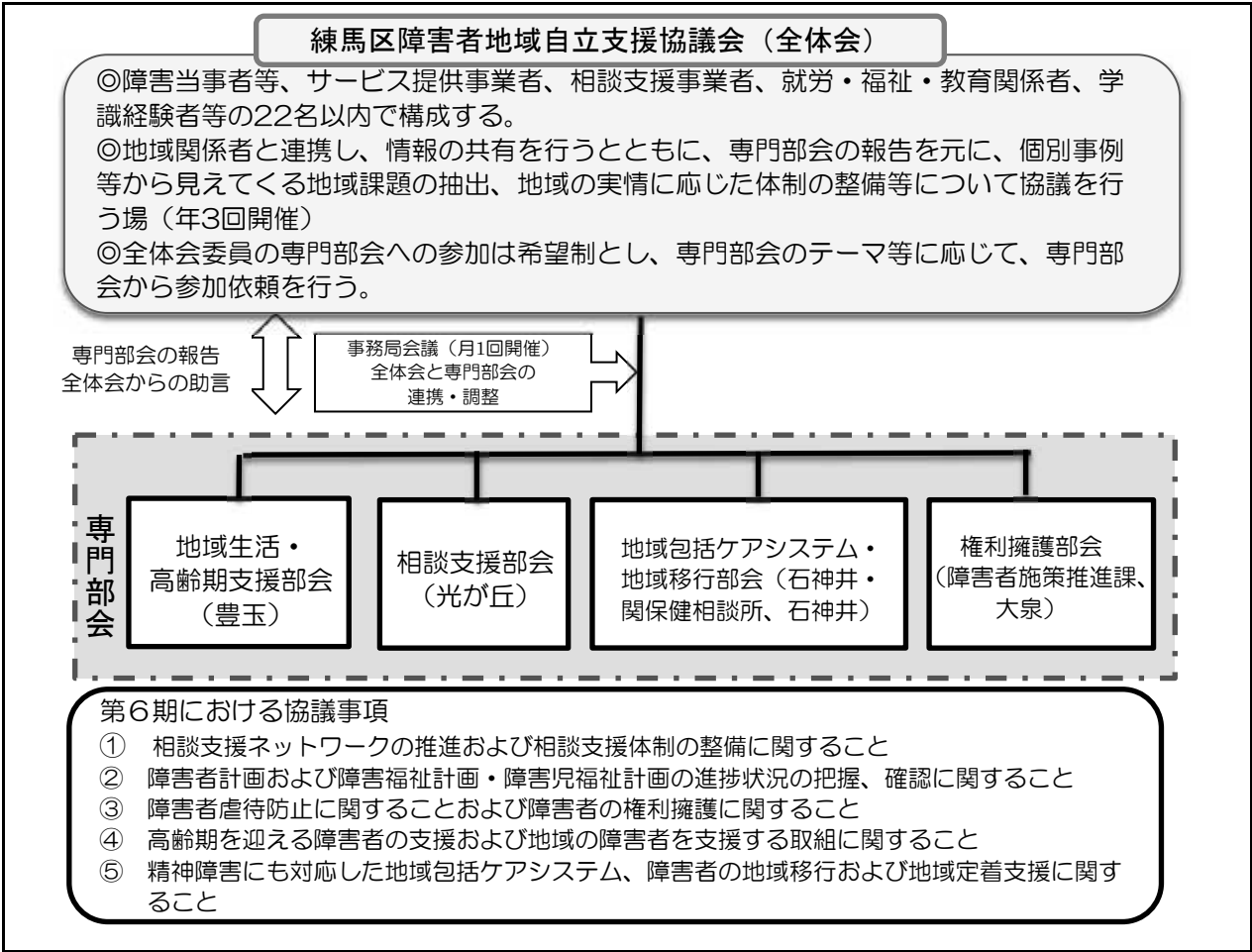


練馬区

1 地域自立支援協議会の基本事項

- (1) 名称 練馬区障害者地域自立支援協議会
(2) ホームページURL <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/kaigi/kaigiroku/hoken/jiritusien/>
(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）	専門部会等	集合形式
-----	-----------------------------	-------	------

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門部会等	平日日中（業務時間内）
-----	-------------	-------	-------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経験年数
1	会長	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅協会 顧問	学識経験者		17
2	副会長	齋藤 文洋	東京保健生活協同組合 大泉生協病院 院長	医療関係者		5
3		森山 瑞江	練馬手をつなぐ親の会 会長	家族・関係団体		10
4		松澤 勝	NPO法人練馬精神保健福祉会 理事長	家族・関係団体		8
5		的野 碩郎	練馬区視覚障害者福祉協会 会長	障害当事者（ピアサポーター含む）		14
6		市川 明臣	練馬区聴覚障害者協会 名誉会長	障害当事者（ピアサポーター含む）		17

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
7		田中 康子	練馬区肢体不自由児者父母の会 会長	家族・関係団体		17
8		山岸 由香里	練馬区重症心身障害児（者）を守る会 会長	家族・関係団体		3
9		中野 一	練馬区立心身障害者福祉センター 練馬区中途障害者通所事業 だん	障害福祉サービス等事業者		5
10		今井 道子	いまここ大泉学園	障害福祉サービス等事業者		3
11		伊東 和子	ケアサービス伊東 代表取締役	障害福祉サービス等事業者		7
12		田中 聡	都立練馬特別支援学校 進路指導 部 主任	教育関係機関		2
13		亀田 英次	都立大泉特別支援学校 主任教諭	教育関係機関		3
14		亀井 永二	練馬区民生児童委員協議会 豊玉 地区 会長	民生委員・児童委員		2
15		前田 貴子	池袋公共職業安定所（ハローワーク） 専 門援助第二部門 統括職業指導官	雇用関係機関		1
16		安藤 薫	東京商工会議所 練馬支部 事務局長	雇用関係機関		2
17		菊池 貴代子	練馬区立豊玉障害者地域生活支援セン ター（きらら）所長	相談支援事業者		7
18		石野 哲朗	練馬区立光が丘障害者地域生活支援セン ター（すてっぷ）所長	相談支援事業者		17
19		益子 憲明	練馬区立石神井障害者地域生活支援セン ター（ういんぐ）所長	相談支援事業者		5
20		徳武 五月	練馬区立大泉障害者地域生活支援セン ター（さくら）所長	相談支援事業者		1

（２）委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	地域生活・高 齢期支援部会	相談支援 部会	地域包括ケア システム・地 域移行部会	権利擁護 部会
学識経験者		1				
医療関係者		1	1		3	
保健所		0	1			
教育関係機関		2		2	1	
雇用関係機関		2			1	1
企業		0				
障害当事者（ピアサポーター含む）		2				2
家族・関係団体		4	3	2	1	1
身体・知的障害者相談員		0				
相談支援事業者		4	1	1	1	1
障害福祉サービス等事業者		3	3	1	4	
社会福祉協議会		0				1
法曹関係者		0				
民生委員・児童委員		1	1			
地域住民		0		1		
行政職員（区市町村）		0	1		1	3
行政職員（都）		0			1	
その他		0	1	1	2	
計		20	12	8	15	9

3 地域自立支援協議会の活動状況

（１）地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

- ・地域や世代をシームレスに繋ぐ情報共有ツールの作成
- ・障害者の地域生活を多様な社会資源とつなぐ包括的な支援の仕組みづくり

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

- ・高齢期を迎える障害者および家族の地域生活における課題について

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

- ・障害者虐待の対応について
- ・成年後見制度について
- ・障害理解の促進に関する取組について

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

- ・区における地域生活支援拠点の整備状況等について

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

- ・障害者計画・障害福祉計画等の取組状況について

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

- ・各関係機関の取組や区の施策等について情報共有を行う。

⑤ 地域課題の整理

- ・福祉に関わる様々な地域資源の活用や関係づくり等の整理を行う。

⑥ 課題解決に向けての検討

- ・専門部会からの報告をもとに、課題等について協議を深める。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

- ・年度ごとの取組報告を行う。

⑩ 権利擁護・虐待防止

- ・区における障害者虐待の状況等について報告を行う。

⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

- ・障害福祉計画等の策定時には、自立支援協議会から意見書を提出している。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

① 個別の困難事例に係る相談等を地域自立支援協議会として受け付けている。

・身体障害者の地域移行について

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

③ 権利擁護・虐待防止

障害者虐待について、障害のある人にも分かるように伝えていく必要があるとの課題から、障害者虐待防止啓発冊子を作成した。

④ 高齢福祉分野との連携

障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行について課題があることから、区内の相談支援専門員および介護支援専門員合同研修会を開催し、事例検討を行った。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	ある程度活性化した。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	------------	-------	------------

イ 活性化したと評価する理由

障害者計画の改定に関する議題を通して、区の今後の障害福祉施策の議論を行うことができたため。

(2) ICTの活用

- ・集合形式では参加が困難な委員は、Web会議を活用して参加
- ・UDトークを活用して、会場のスクリーンに委員の発言を文字で投影している。